

健康被害

予防事業だより



2008年1月号
No.39

平成19年度大気汚染防止推進月間ポスター受賞作品



環境
大臣賞

「空の笑顔が宝物」

妻瀬 茉莉子さん
(福岡県)
北九州市立田原中学校2年



環境再生
保全機構
理事長賞

「守る空
守られる命」

四宮 光理さん
3年
徳島県立徳島商業高等学校



優秀賞

「私の大好きな青い空」

小敷 安紀さん
3年
開智中学校 (和歌山県)



優秀賞

「空」とあそぼ。」

島 美里さん
3年
徳島県立徳島商業高等学校

目次

大気汚染防止推進月間の事業報告

- ポスターの作成及び掲出 2~3
- エコドライブコンテスト 4
- 大気汚染防止推進月間キャンペーン
そらエコ 5

イベント等の開催報告

- 2007年度低公害車フェア 6
- ぜん息児水泳記録会 7
- ぜん息予防講演会(東京都) 8
- 自治体の取り組み紹介(環境保健施策)
ぜん息キャンプ事業(渋谷区) 9

イベント等の開催予定(お知らせ)

- 〈環境改善分野〉 10
 - かわさき新エネルギー・環境展
 - エコドライブセミナー(さいたま市・名古屋市)
 - エコカーワールド2008(低公害車フェア)
- 〈環境保健分野〉 11
 - 平成19年度ぜん息キャンプ事業フォローアップ研修
 - 平成19年度環境保健調査研究報告会
 - ぜん息などの情報館トップページのリニューアル
- 新刊パンフレット等のご案内 12

大気汚染防止推進月間の事業報告

環境への配慮が世界的に問われている今、我が国の大気汚染の状況については、大都市圏を中心に窒素酸化物（NOx）や浮遊粒子状物質（SPM）などの環境基準を達成していない測定局が残っている状況です。

環境省及び独立行政法人環境再生保全機構では、窒素酸化物や浮遊粒子状物質などの大気汚染物質の濃度が高くなる毎年12月を「大気汚染防止推進月間」とし、大気汚染防止のための各種啓発活動を実施しています。

大気汚染防止推進月間事業

平成19年度に実施したのは以下の事業です。

- 1.ポスターの作成及び掲出
- 2.エコドライブコンテスト
- 3.大気汚染防止推進月間キャンペーン「そらエコ」

● 冬の空が汚れてるってホント？

—12月は一年間のうち、冬はビルや家庭の暖房、年末のクルマの交通量の増加などで、大気を汚す窒素酸化物（NOx）や浮遊粒子状物質（SPM）が増えます。また、冬には上空の冷たい空気が地表付近の空気の上に重くのしかかる逆転層という現象が起きます。そのため、大気汚染物質が地表付近に溜まりやすくなってしまうのです。



1.ポスターの作成及び掲出

大気汚染防止推進月間の啓発活動の一環として、青い空の大切さや、一人ひとりが取り組むべきことなどを広く呼びかけるために、ポスター図案募集を行いました。受賞作品を活用して、ポスター（87,000部）及びカレンダー（18,000部）を作成し、全国の都道府県等に配付・掲出しました。

※ポスター等の図案については、応募のあった6,013点の中から、絵本作家のやなせたかし氏、音楽家の湯川れい子氏らを交えて審査を行い、環境大臣賞や独立行政法人環境再生保全機構理事長賞など16点の入賞作品を決定したものです。



環境大臣賞を活用したポスター



機構理事長賞を活用したカレンダー

● 表彰式・展示会

平成19年度大気汚染防止推進月間ポスター図案の上位入賞者に対し、平成19年12月3日（月）に、東京・虎ノ門パストラルにて表彰式を行いました。

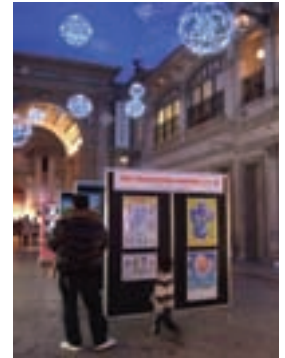
また、優秀作品展を2箇所（羽田空港、お台場・ヴィーナスフォート）で開催しました。



表彰式の様子



羽田空港での展示の様子



ヴィーナスフォートでの展示の様子

● ポスター図案募集・受賞者の声



環境大臣賞
「空の笑顔が宝物」
妻瀬 菜里子さん
北九州市立田原中学校
2年（福岡県）

青い空をきれいなまま未来に残したいという気持ちを絵にしました。

自分が書いたポスターが環境大臣賞を受賞したことに驚いていますが、うれしいです。

講評（やなせたかしさん）

空という字をうれしそうに笑わせてしまったアイデアがすばらしい。

レモンイエローにコバルトブルーの配色もさわやかだし、キャッチコピーもぴったりときまっている。



環境再生保全機構理事長賞
「守る空 守られる命」
四宮 光理さん
徳島県立徳島商業
高等学校3年

空と人間のやさしさを重ねて表現したかったので、やさしい感じを出そうと工夫しました。

「大気汚染防止推進月間ポスター」には、高校1年生のときから毎年応募をしていました。

今年は高校3年生。高校生活の最後に描いたポスターで賞を取ることができて、とても良い記念になりました。

講評（やなせたかしさん）

まんなかの母親と子どもが現代の聖母像みたいで愛らしい。命という字だけ赤くしたのも効果的。



優秀賞
「私の大好きな青い空」
小藪 安紀さん
開智中学校3年
（和歌山県）

明るい色をたくさん使って、明るいポスターにしたいと思いました。

青い空を一色で表現したので、ムラができないように塗るのが苦労したところです。

このポスターを見た人が、空を身近なものと感じてくれたらうれしいです。

講評（やなせたかしさん）

よく見ると空の腕に抱かれて少女はハンモックに乗ったように安心してねむっている。そのあたたかい発想がいい。



優秀賞
「『空』とあそぼ。」
島 美里さん
徳島県立徳島商業
高等学校3年

小さな頃、友達と一緒に青い空に浮かんだ雲のかたちを見て、何に似ているかを言い合っていて遊んでいました。

そんな楽しい思い出を表現したいと思って、このポスターを描きました。

講評（やなせたかしさん）

全部を青空の白い雲で表現したのが面白い。一番下にいる二人の子どもは普段ならまず写実的に描きたいところを雲にしたので、ユニークでメルヘンチックになった。

2.エコドライブコンテスト

急発進や急加速をしないなど環境にやさしい運転「エコドライブ」についての活動を全国に普及させること目的として、各事業所で行っている「エコドライブ」に関する取り組み内容等を審査・評価し、12月の大気汚染防止推進月間において優秀な事業所を表彰するためのエコドライブコンテストを毎年実施しております。

4回目の開催となる平成19年度は、募集エリアを全国に拡大してコンテストを開催するとともに、これまでの「コンテストコース（審査・表彰）」に加え、「アンケートコース（アンケートのみ）」を設けました。



■平成19年度実績 ※（）内は平成18年度実績

参加事業所数…534事業所（175事業所）

参加車両台数…17,071台（13,138台）

応募いただいた審査票を評価し、10月23日（火）の最終選考会（委員長大聖泰弘：早稲田大学理工学術院教授）を経て受賞事業所を決定しました。

平成19年度の表彰式の様子

平成19年度大気汚染防止推進月間事業のエコドライブコンテストの上位入賞事業所に対し、平成19年12月3日（月）に東京・虎ノ門パストラルで表彰式を行いました。

「大気汚染防止推進月間」表彰



●エコドライブコンテスト・受賞者の声



環境大臣賞

・福岡県（北九州市） 九州菱化物流株式会社 本社営業所 二島物流センター

（受賞者の声・九州菱化物流株式会社）

今回は初めての応募でしたが、最高賞を受賞できて大変嬉しく思います。

当センターでは10年程前（平成8年）からエコドライブに社内的に取り組んできましたが、自分たちのエコドライブがどの程度のレベルにあるのか、力試しをしてみようと思ったのが、応募の動機でした。

取り組み始めた頃は「エコドライブ」という言葉も省燃費の活動として出始めたばかりで、あまり浸透していませんでした。それでも当センターが早々にエコドライブに取り組み始めたのは、燃費改善だけでなく事故数の低減につながる取り組みであったからです。

まずはエンジンの回転数を低く抑えることから始め、急発進をしないことなどをドライバーに徹底してもらいました。その効果がすぐに出たので、活動内容を拡げ、今日まで継続してきている状況です。

エコドライブ活動を継続する為に何よりも大切なのは、ドライバーの立場を理解し、管理・協力する人材を育成することだと思います。



環境再生保全機構 理事長賞

・千葉県（船橋市） 株式会社ロジバルエクスプレス 船橋営業所
・埼玉県（越谷市） 中越運送株式会社 越谷営業所

（受賞者の声・中越運送株式会社）

当社としては、今回で4度目の受賞となります。（1回目…入賞、2回目…環境大臣賞、3回目…機構理事長賞、4回目…機構理事長賞）。

4年連続で受賞することができたのは、社内でも創意工夫をこらし、エコドライブに対するモチベーションを維持できた結果だと思います。

朝起きたらご飯を食べる、車に乗ったらエコドライブをする、とまではエコドライブ活動がまだ世の中に浸透していませんが、継続していくことが何より大切なことだと考えています。



優秀賞

・東京都（国立市） NECロジスティクス株式会社 首都圏運行管理部車輛課
・静岡県（浜松市） 株式会社ダイコー商運

平成20年度エコドライブコンテスト 参加事業所 大募集!!

申込開始(予定):平成20年5月中旬から

エコドライブコンテストに関するお問い合わせは

▶ **044-520-9567**

独立行政法人環境再生保全機構
予防事業部環境改善課

3.平成19年度大気汚染防止推進月間キャンペーン（そらエコ）

環境再生保全機構では、毎年12月の大気汚染防止推進月間にあわせてキャンペーンを実施しています。

2007年のキャンペーン『そらエコ』では、新聞広告及びホームページで、みんなの空を汚さないためのあなたのアイデアを大募集し、たくさんの素敵なアイデアが集まりました。

集まったアイデアの中から選ばれた86点のアイデアは、12月25日（火）毎日新聞の夕刊で発表し、特別審査委員長のCharaさんが選んだ最高賞のアイデアには、「星に名前をつける権利」をプレゼントしました。

集まったアイデアは、環境再生保全機構ホームページでご紹介しています。

あなたが気に入ったアイデアを、ひとつ実践してみたいはいかがでしょうか。



最高賞

スモッグ警報の逆、『今日は空気がきれいです放送』。

富士山が見えますよ、とか教えてほしいな。

まつもとじょう さん 28歳・男性

特別審査委員長 Charaさんのコメント：

本当だよね。

自然のことを知るのはおもしろいし、

そんな警報があったら

いい街だなんて感じがするよね。

雲とか植物なんかを知るのにも繋がったら

人間も、もう少し地球の一部なんだなって

考える時間ができるよね。



【新聞広告】平成19年12月1日（土）

毎日新聞・朝刊

「空を汚さないためのあなたのアイデア大募集！」

そらエコ「最高賞」を
受賞した松本 浄さんに
お話を伺いました。



そらエコのアイデア募集の最高賞に贈られるのが、金品ではなく「星の名前をつける権利」だというのに惹かれて応募しました。星の名前は色々考えた結果、自分の名前にスターをつけて「ジョースター」に決めました。好きな漫画のキャラクターとも同じ名前です。

エコのためには、買い物のときになるべくビニール袋をもらわないようにするなど、身近にできることを心がけています。一人ひとりが前向きにエコのことを考えて出来ることを意識してアイデアを考えていたので、最高賞を受賞することが出来てうれしかったですね。



【新聞広告】平成19年12月25日（火） 毎日新聞・夕刊

「空を汚さないためのあなたのアイデア大募集！」 入選作品発表

イベント等の開催報告

低公害車フェア

環境再生保全機構と次の自治体との共催で、低公害車フェアを実施しました。

電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車、LPガス自動車などのエコカーの展示、エコカー試乗会をはじめ、ステージイベントなどを行いました。

またノーマイカー得々キャンペーンと題して、公共交通機関、自転車、徒歩で来場した方に特典をつけるキャンペーンを行うなど、各会場ごとに環境を守るための様々な取り組みがなされました。

たくさんのご来場、ありがとうございました。



会場の様子 (神戸市)



小学生もエコカー見学 (埼玉県)



イベント会場 (北九州市)



展示会場の様子 (大阪府)



会場の様子 (名古屋市)

ぜん息児水泳記録会

環境再生保全機構では、公害健康被害予防事業の一環として、ぜん息の健康回復や増進を目的に水泳教室などに参加している児童が一堂に集まり、タイムレースを通じて日ごろの成果を発表し、ふれあいを深める場として、「ぜん息児水泳記録会」を開催しています。

今年の開催実績

関西地区、関東地区ともに、ぜん息の健康回復のための水泳教室に参加している小学1年生～6年生の子どもたちが、(財)日本水泳連盟が認定する泳力検定1～5級を兼ねたタイムレースに参加しました。

ぜん息児水泳記録会（関東地区）

開催日：平成19年10月13日（土）

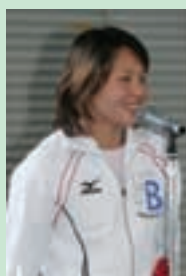
会場：東京辰巳国際水泳場

（東京都江東区）

参加者：252人

招待選手：藤野 舞子選手

（FBインターナショナル所属）



泳法指導コーナーで招待選手自らコーチとして泳ぎのワンポイントレッスンをしていただき、子どもたちはクイックターンの練習などに熱心に取り組んでいました。

ぜん息児水泳記録会（関西地区）

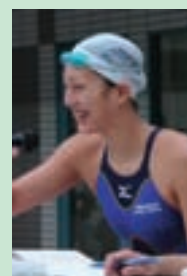
開催日：平成19年9月2日（日）

会場：大阪プール（大阪市港区）

参加者：165人

招待選手：寺川 綾選手

（ミズノ株式会社所属）



関西地区では、レースの合間に「水中○×クイズ」を行い、ぜん息の知識について再確認しました。



タイムレースの様子



泳法指導コーナー

招待選手の模範水泳では、子どもたちの目の前で華麗な泳ぎを披露していただき、プールサイドから乗り出して見つめる子どもたちの姿が印象的でした。

今後さらに、競技や健康管理の目標に向かって、いきいきと毎日を送っていただきたいと思います。



招待選手による模範水泳（個人メドレー200M・藤野選手）



大好評だった水中○×クイズ

ぜん息の予防等に関する講演会（対象：一般）

環境再生保全機構では、ぜん息等に関する知識の普及を図ることを目的として、一般の方々を対象に、専門家によるぜん息やアレルギーに関する講演会を、関係自治体と共催しています。

平成19年度は、予防事業対象地域の6箇所（玉野市、四日市市、神奈川県、東京都、神戸市、富士市）で開催しました。ここでは、平成19年11月12日（月）に、東京都目黒区のこまばエミナースで開催された「ぜん息予防講演会（東京都）」についてご紹介します。

「ぜん息予防講演会（東京都）」

テーマは『子どものぜん息とアトピー性皮膚炎～正しい知識と対応法～』。山王病院小児科で日々診療にあたられている鈴木五男先生をお迎えし、前半は講義形式、後半は質疑応答でぜん息やアトピー性皮膚炎についてお話いただきました。

休憩時間には、先生に質問するために並んだ方々の列が途絶えず、また後半の質疑応答でも予定の時間を超過するほどで、ぜん息とアトピー性皮膚炎への関心の高さが感じられました



【前半】・・・講演



【後半】・・・質疑応答

こんな質問が寄せられました。

Q.

皮膚に貼って使う気管支拡張薬は、貼ってからどれくらいの時間で効き目があるのでしょうか？また、使用上の注意点はありますか？

A.

血中のピークは平均は1時間半ほどで、早い人で30分で効き目が現れます。貼ってすぐにお薬の成分が溶け出すので、一度はがれてしまったからといって、新しいものを貼ってしまうと、薬が多くなってしまうことにもなりかねないので、医師の指示に従ってください。また、子どもが遊んで自分で貼らないように気をつけましょう。



ご参加いただいた方の声

- 診療や本でぜん息やアトピーについて学んできたつもりでしたが、初めて知ることもあり、大変勉強になりました。先生のお話もわかりやすく、あっという間の2時間でした。
- このような講演会には初めて参加しました。子どもが1歳10ヶ月でちょうど自我が芽生え手のかかる時期。保育を利用できたおかげで、講義を集中してきくことができたと思います。

齋藤 勝さん

（東京都 福祉保健局 健康安全室 環境保健課 指導係）

- ご参加いただいた皆様には、最新情報や先生との質疑応答の内容が、今後の参考となれば幸いです。

私は、初めての講演会担当でしたが、環境再生保全機構の方々とともに無事に運営でき、ほっとしています。今後も、よりよい講演会を開催し、参加してよかったと思っていただけるようにしていきたいと思っています。

鈴木五男先生

（山王病院小児科）

- 気管支喘息やアトピー性皮膚炎といった慢性的なアレルギーの病気は子どもの日常生活に色々な負担を与えます。それらを軽減させてあげるには家族を含めた子どもの周囲の方が病気を十分理解し、そのお子さん状況を把握し、そして何をしてくれることが出来るかを医師などに確認し、可能な限り実行することにあると思います。

自治体の取り組み紹介（環境保健施策）

公害健康被害予防事業対象地域では、ぜん息等の発症の予防、健康の回復・保持・増進を図るため、健康相談事業、健康診査事業、機能訓練事業を行っています。これらをまとめて「ソフト3事業」と呼び、環境再生保全機構はこれらの事業を行う地方公共団体に対し、助成を行っています。

機能訓練事業のうち、ぜん息キャンプ事業では、15歳未満のぜん息児を対象に、健康の回復・保持・増進を図るために、医師の健康管理のもと、専門の指導員により療養生活上の指導等を行うとともに、リハビリテーションの指導、レクリエーション活動等を行っています。

平成19年度には29自治体で行われ延べ6,595人のぜん息児が参加しました。

ここでは、平成19年度に渋谷区で行われたぜん息キャンプ事業についてご紹介します。

ぜん息キャンプ（渋谷区） 富山サマーキャンプ

開催日：H19.8/9～8/13（4泊5日）

開催地：千葉県南房総市（富山臨海学園）

対象：渋谷区内在住の小学校3年生から中学3年生

参加者数：62名



朝の体操風景。一日のはじめに、しっかり体をウォーミングアップしましょう。

今回で30周年を迎える歴史あるキャンプ。

今年のテーマは「新発見～ぜんそく・仲間・強い自分～」でした。

キャンプ中は海で泳いだり、野外炊飯をしたりするほかに、ぜん息への理解を深めるためのプログラムが組まれています。

プログラムに取り組む子どもたちの姿は真剣そのもの。家庭に帰ってからもキャンプで学んだことを続け、ぜん息をコントロール出来るようになって欲しいと思います。



腹式呼吸の練習風景。右手は自分のお腹に当て、左手を口のそばに置いて、腹式呼吸を意識しています。



中央にあるのがビニール袋の中にスーパーボールを入れた手作りバルーン。息を吹いて、これを相手の陣地に落としたら勝ちです。

保護者の方の感想

☆ぜん息についての知識が学べたので、苦しいのは自分だけではないということや対処法を身につけたのは大きなことだと思います。医師が同行してくださるので親としても安心して送り出せました。

参加した子どもたちの感想

☆ぜん息のことを気にせずに、いっぱい遊べました。

☆みんなと楽しくぜん息のことが勉強できました。



渋谷区・担当者より

☆ぜん息に対する教育的側面を重視してプログラム等をYMCAと検討していますが、その中にも子どもたちが4泊5日を楽しく過ごせることも重要な目標として考慮しています。

事業に関するお問い合わせ先

● 環境再生保全機構 予防事業部 環境保健課 電話：044-520-9572

● 渋谷区保健所 地域保健課 公害保健係 電話：03-3463-1211

イベント等の開催予定（お知らせ）

環境改善分野

かわさき新エネルギー・環境展

開催日：平成20年2月15日（金）～16日（土）

時 間：両日とも11：00～16：00

会 場：川崎地下街スタジオアゼリア及びサンライト広場、
ラッチタデッラ多目的広場及び噴水広場
川崎日航ホテル

連絡先：環境再生保全機構 予防事業部 環境改善課
TEL：044-520-9567



今年で2回目となる「かわさき新エネルギー・環境展」を、川崎市等とともに開催します。

環境再生保全機構では、環境にやさしい運転エコドライブ等を中心に、環境問題を身近に感じてもらえるような場としてブースを出展します。また、川崎地下街サンライト広場では、エコドライブをはじめ環境保全全般について、ゲストを交えてトークセッションを催します。

エコドライブセミナー （さいたま市）

開催日：平成20年2月15日（金）
13：30～16：30

会 場：プラザウエスト
（さいたま市道場4-3-1）

対 象：市内在住又は在勤の方

応募締切：2月13日（水）必着

お申込みはFAX：048-829-1991またはEメール：
kankyo-taisaku@city.saitama.lg.jp
まで。住所、氏名、電話・FAX番号を必ず
明記してください。

お問い合わせ：さいたま市環境対策課
交通環境係 TEL：048-829-1329

講 演：

- ①：「自動車の環境・エネルギー問題とエコドライブの効果」～こうやって切り抜けよう ガソリン高!!!～
- ②：「誰でもできるエコ運転術」（仮題）
- ③：「こうすればエコドライブ活動はうまくいく！」

エコドライブセミナー（名古屋市）

開催日：平成20年2月19日（火）
14：30～16：30

会 場：名古屋市女性会館ホール
（名古屋市中区大井町7-25）

応募締切：2月15日（金）必着

お申込みはFAX052-972-4155またはEメール：
a2682@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
まで。住所、氏名、電話・FAX番号を必ず
明記してください。

お問い合わせ：名古屋市環境局交通公害対策課自動車公害係 TEL：048-829-1329

講 演：

- ①：「自動車の環境・エネルギー問題とエコドライブの効果～こうやって切り抜けよう ガソリン高!!!～」
- ②：「エコドライブモニター制度について」
- ③：「こうすればエコドライブ活動はうまくいく！」



2007年の様子

エコカーワールド2008（低公害車フェア）

(1) エコカーワールド2008 in 神戸

・日時：平成20年5月17日（土）12:00～17:00
5月18日（日）10:00～16:00

・場所：神戸メリケンパーク等（野外オープンスペース）
※入場無料

連絡先：環境再生保全機構 予防事業部
環境改善課
TEL044-520-9567

(2) エコカーワールド2008 in 横浜

・日時：平成20年6月7日（土）12:00～17:00
6月8日（日）10:00～16:00

・場所：横浜赤レンガ倉庫広場等
（野外オープンスペース）
※入場無料

平成20年度で23回目を迎えるエコカーワールド。平成19年度に開催した横浜赤レンガ倉庫広場のほか、新たに神戸メリケンパーク等を加え、2箇所で開催します。

環境保健分野

平成19年度ぜん息キャンプ事業 フォローアップ研修

開催日：平成20年2月7日（木）～8日（金）
会場：東京 虎ノ門パストラル
対象：公害健康被害予防事業（環境保健事業）に従事する指導員、保健師、事務担当者等
定員：30名
連絡先：環境再生保全機構 予防事業部
 環境保健課 TEL:044-520-9568

機能訓練事業のひとつ、「ぜん息キャンプ事業」にスポットをあてた研修を実施します。

主に、平成19年度にぜん息キャンプ事業に携わった方を対象に、事業実施に関する反省点や問題点などの情報交換を行い、平成20年度のぜん息キャンプ事業の実施に役立てられるような内容を企画しています。奮ってご参加ください

平成19年度 環境保健調査研究報告会

開催日：平成20年3月9日（日）
 9:15～18:00（8:30開場）
会場：時事通信ホール
連絡先：環境再生保全機構 予防事業部
 環境保健課 TEL:044-520-9568
 「大気汚染による健康影響に関する総合的

研究」の平成19年度の研究内容に関する報告会を開催します。参加希望の方は連絡先までお問い合わせ下さい。



ぜん息などの情報館・トップページのリニューアル

ぜん息・慢性閉塞性肺疾患（COPD）の総合情報サイトである「ぜん息などの情報館」のトップページのデザインを変更しました。

ぜん息やCOPDの基礎知識を分かりやすく解説。

また、パンフレットやイベントなどの最新情報も掲載していますので、ご活用ください。

初めてサイトを訪れた方でも情報を探しやすいように目的別のサイト・ナビゲーションを設置しました。

講演会など一般の方にご参加いただきたいイベント情報はココ！

時間の余裕がありましたら、ぜひアンケートにご協力ください。

機構が配布しているぜん息などのパンフレットや貸し出しビデオなどはここで調べられます。

ぜん息・大気環境情報館に関する最新情報をお届けするメールマガジンの登録はこちらから！

新しく
なりました！



ぜん息・COPDについての基礎知識はこのコーナーで学べます。

ぜん息に関する悩みや相談はここをクリックしてください。

ぜん息やCOPDに関する最新情報や関連トピックスを随時掲載しています。

新刊パンフレット等のご案内

●「子どものぜん息ケア 実践ガイドンス 2007年版」

小児ぜん息の最新の情報、ピークフローなどの自己管理について等、実践の場で活用できる実技を中心にまとめたパンフレット。新たに「2007年版」として内容を改訂しています。
平成19年12月発行



【目次】

【Part1／小児ぜん息発症予防】

●あなたの赤ちゃん、子どもは大丈夫？

【Part2／検査と薬】

●これだけは知っておきたい診断・治療の基本

●小児ぜん息にやさしい室内環境を整えましょう

●環境報告書2007

環境再生保全機構では、2007年9月末に、『環境報告書2007』を作成し、公表しました。



特集では、エコドライブについて取り上げています。平成18年度エコドライブコンテストで最高賞である「環境大臣賞」に輝いた、神奈川県川崎市の佐川急便（株）川崎店の方とのインタビューなどを掲載していますので、ぜひご一読ください。

環境再生保全機構HPでご覧いただけます。

<http://www.erca.go.jp/houkoku/index.html>

機構TOP>情報公開>7.その他の公表事項>環境報告書2007

●すこやかライフNo.30 ぜん息 & 慢性閉塞性肺疾患のための生活情報誌



ぜん息、慢性閉塞性肺疾患の患者の方々に対しぜん息等の予防・回復に資するための情報提供を目的とした生活情報誌です。年2回発行しています。
平成19年10月発行

【目次】

◇特集：きちんと知ろう ぜん息吸入薬の役割

・吸入ステロイド薬と β_2 刺激薬

◇医療トピックス

～ぜん息治療の選択の幅が広がる吸入ステロイド薬と β_2 刺激薬の合剤&新吸入ステロイド薬～

成人ぜん息の治療に期待の新薬が登場

◇情報コーナー

・学校生活とアレルギーの子どもたち

◇ぜん息児へのエール

・ロバート 秋山竜次さん

◇現場レポート

・学び、動き、ぜん息克服への自信につながるぜん息キャンブレポート

◇心のサポートコラム

・ぜん息の子とその家族の元気の素

◇すこやかプラス

「色彩心理のはなし」

◇読者のページ

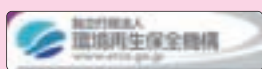
・読者Q&A

パンフレット等の申込み・お問い合わせについて

環境再生保全機構では、パンフレット等の無料配布、各種パネルやビデオ・DVD・CD等の貸し出しを行っています。お申し込みはお電話（平日9:00～18:00）、またはFAX、ホームページの申し込みフォームから受け付けています。お気軽にお問い合わせ下さい。

ぜん息等に関するものはこちらへ 予防事業部 環境保健課 電話044-520-9568

環境再生保全機構ホームページから……………「ぜん息などの情報館」

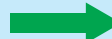
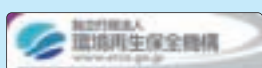


「パンフレット&ビデオ」



大気環境に関するものはこちらへ 予防事業部 環境改善課 電話044-520-9567

環境再生保全機構ホームページから……………「大気環境の情報館」



「環境に関するビデオ・パンフレットなど」



FAXでのお申し込みはこちらへ **FAX044-520-2134**

健康被害予防事業だより 第39号（2008年1月号）発行 独立行政法人環境再生保全機構 予防事業部 管理課

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー8F TEL：044-520-9564（ダイヤルイン） FAX：044-520-2134